

## 「未来高岡」ステップアップトーク（守山地区）会議記録 <要旨>

- 1、日 時 平成 28 年 9 月 30 日（金） 午後 7 時 30 分から 8 時 30 分
- 2、場 所 守山公民館
- 3、出席者 市民 54 名（うち女性 1 名）  
高岡市  
市長、経営企画部長、広報統計課長
- 4、会議次第
  - (1) 高岡市総合計画基本構想の紹介
  - (2) 参加者との意見交換

.....

### (1)高岡市総合計画基本構想の紹介

#### (2)参加者との意見交換

参加者

- ・河川改修工事により、守山川の周辺が殺風景になってしまったことから、桜の木などを植樹してほしい。

市長

- ・河川整備を進める中で地域と相談していきたい。

参加者

- ・守山公民館の前の道路は、万葉小学校へ通学する児童の通学路になっているが、国道 160 号線が近いことや、主要地方道小矢部伏木港線への近道として利用されており、交通量が非常に多い。高岡市で、通学路の危険箇所を調査されたが、万葉小学校の校区内で該当する箇所はなかった。9 月の市議会で、危険箇所と判断された 54 か所の報告がされると聞いたことから、この機会に万葉小学校の校区内の通学路の危険箇所を見直してほしい。

市長

- ・通学路の危険箇所については、点検しながら必要な箇所は見直していきたい。

参加者

- ・高岡市と他市町村との財政状況の比較や歳入状況を教えてほしい。また、市内で転入増になっている地域はあるのか。

市長

- ・歳入については厳しい状況である。しかし、安定税収である固定資産税の収入状況がようやく回復してきたことから、地域の再開発を行い、固定資産税の収入増につなげていきたい。市民税についても所得に左右されることから、産業開発等に力を注ぎ景気を良くすることで収入増につなげていきたい。その他、人口増加や居住環境の整備、広域連携等にも取り組んでいきたい。

参加者

- ・鳥取県境港市は、漫画のゲゲゲの鬼太郎をPRすることで大変賑わっており、昭和の雰囲気が残るまちで関連グッズを販売したりスタンプラリーを実施し、海外からの観光客も多い。境港市のように漫画を活用してPRしているまちを参考にしたい。  
藤子・F・不二雄ふるさとギャラリーではまだインパクトが弱く、そこから、末広町や御旅屋通りへと誘導する方法を考えないとリピーターは来ない。情報発信だけでなく、導線となる道路の整備も併せて行うことで高岡の歴史・文化を発信していくことが重要である。

市長

- ・藤子・F・不二雄ふるさとギャラリーという拠点から周辺地域へと、公共交通で周れるルートを作っていきたい。人の流れを誘導することは大事なことだと考えており、新高岡駅から高岡駅を經由し、山町や金屋町という歴史ゾーンへと続くラインを都心軸として、高岡駅そばの看護専門学校の設立や金屋町の（仮称）鋳物師町工房の整備計画などを進めている。また、能越自動車道の高岡北インターなどからまちなかへと通じるルートを整備するため、戦略的道路の構想を県に要望している。

参加者

- ・日本海を中心として南北が逆になった逆さ地図は、富山が日本海側の中心にあり、環日本海の窓口であるということがよく分かるので、環日本海をPRする際に使用してはどうか。

市長

- ・逆さ地図を見れば、富山は日本海の中心にあり、中京圏はもとより東京、大阪からも近いことがわかる。とやま呉西圏域のキャッチフレーズは「環日本海の中核拠点」であることから、呉西圏域が、日本海から世界に向けて開いていける場所だとPRしたい。また、物流の拠点として、そして世界へ向けて人材を送り出していきたい。